

PROFILE

1954年熊本市生まれ。熊本大学法学部卒業。3男1女の母。現在は夫と子ども1人の3人暮らし。



熊本市中央区役所

熊本市中央区手取本町1-1
TEL : 096-328-2555

自分なりの価値観を持って、「女性」ではなく「人」として仕事に向き合ってほしい

—仕事のやりがいを教えてください。

前 渕 役所は、人生のあらゆる場面に関わる総合商社のようなものです。他の仕事にも通じると思いますが、「人の役に立つこと」が喜びであり、やりがいにもなります。

—家庭との両立で大変だったことは。

前 渕 入庁して1年目に結婚、その後10年くらいは、自分の中で仕事と家庭の両立が大きなテーマでした。

当時はまだ育児休業制度も整備されておらず、0歳児を預かってくれる保育所も少なく、制度と実態にとても差がありました。家族の協力を得ながら、手探りでそのギャップを埋める工夫をしていました。今思えば、当時の配属が保育園の担当だったことは幸運で、職場が女性の就労に否定的ではなく、女性の先輩方も多くて精神的に大いに助けられました。



取材担当
熊本大学3年
田中彩水

輝きの軌跡

前 渕 啓 子 さん の
キャリアストーリー

- 1977年 民間企業に勤務
- 1978年 熊本市に入庁
- 1979年 結婚
- 2001年 環境企画課長
- 2003年 国際交流課長
- 2006年 生涯学習課長
- 2009年 文化生活部長
- 2010年 市民生活局次長
- 2011年 子ども未来局長
- 2012年 熊本市中央区長

ですが、やはり「女性は家庭」が一般的な時代。このまま仕事を続けていくことに漠然とした不安がありました。そんなとき、男女共同参画を推進する部署に配属になり、初めて女性の管理職のもと働くことに。その方を見てみると「仕事に男女は関係ない」ということが現実として理解でき、自分の仕事にも先の見通しがついたような気がします。

—これから社会に出る女性にアドバイスをお願いします。

前 渕 今の時代は、男性よりむしろ女性の方が生き方の幅が広がっているように思います。その分「迷う」場面も多いでしょう。できるだけたくさんの人と話し、積極的にいろんな経験を重ね、自分なりの価値観を築いてください。その価値観を持って自分の中での優先順位をつけると、仕事だけでなくいろんな場面でブレない選択ができます。また、必要以上に「女性」を意識してしまうと、心理的な枠ができて、その人本来の良さが発揮できないだけでなく、時にはそれが女性自身の甘えにつながってしまうこともあると感じます。安易に女性を主張せず、女性であることに甘えず、「人」として仕事(社会)に向き合ってほしいと思います。

今ある男女平等は、先輩たちの努力の積み重ねがあってこそ。当然と思わず、大事にしてほしいです。

